
REBORNに最強が！！

せつつあん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

REBORNに最強が！！

【Nコード】

N6985S

【作者名】

せつつあん

【あらすじ】

生きる術を失った魂はどうなりますか。
地獄に行く？違います。

生きる術をなくした魂は、神が特別な力を与えて新しい世界へと強制的に旅立たせるのですこれは1人の少年が巻き込まれたことを書き記した書なのです。

REBORNですよろしく。

第零話 開口一番（前書き）

これからよろしくお願いします。

第零話 開口一番

生きる術を失った魂はどうなりますか？

地獄に行く？いいえ違います。

生きる術をなくした魂は、神が特別な力を与えて新しい世界へと強制的に旅立たせるのです。

これは、1人の少年が巻き込まれた事を書き記した書である。

「ンで、この状況はなんなんですか」

「いや、だからですねあなたは死んだんですよ、OK?」

「NO、現に今ここにいるんですよ」

「じゃあこれを見てください」

「なんですかこれは」

「アンタの名前はなんですかア」

「・・・改です」

「そうかい名前だ」

「ありがとうございます」

ドガーアアアアアアアアン

さて少年はどうなるのでしょうか、それではまたお会いしましょう。

第零話 開口一番（後書き）

これから頑張ります。

第一話 禁書目録（前書き）

設定です。
変えました

第一話 禁書目録（後書き）

原作前は飛ばしていきます。
過去編は後で。

第二話

電光石火（前書き）

原作開始です。

第二話

電光石火

「おい、氷期もういくのか？」

「ああ、面白れエことになりそうだ」

「・・・じゃあな」

「ああ」

「ツナ、おはよう」

「っあ、山本！おはよう」

「十代目おはようございます」

「獄寺君も、おはよう」

「そっいえばツナ、今日転校生来るって知ってるか？」

「転校生？こんな時期に？」

「大丈夫です、危険な奴だったら俺がぶっ飛ばしますので」

「う、獄寺君」

「お前ら〜チャイムは鳴ってるぞ座れ〜」

「はい」

「お前らも知っていると思うのだが転校生が来る」

「先生、男ですか？女ですか？」

「喜べ子猫ちゃん、残念でした野郎ども。じゃ、転校生入ってきたなさい」

「はい」

「イタリアに留学していた、不知火氷期君だ」

（イタリアって・・・違うよね・・・それよりもウサギみたいだな〜）

（あいつが沢田綱吉かおもしろそうだな）

「じゃあ、不知火は笹川の隣に座りなさい」

「はい」

「次の時間は1、3の組合同で体育祭の作戦会議です。A組は講義室に移動しなさい」

「不知火氷期か……。調べる必要がありそうだな」

さあ、少年はどう動くのか。ではまたお会いしましょう。

第二話

電光石火（後書き）

ちよつと無理矢理感がある・・・

第三話 唯我独尊（前書き）

読んでくれるとうれしいです。

第三話 唯我独尊

（あちい）

私不知火氷期は、ただいま気温50 の場所に放り出された気分です。

と言つても、本当にそうなわけありません。

すべてはこの男が原因・・・だ。

「極限必勝！！！」

萌えている・・・っあ燃えている。

「これが明日の体育祭での我々A組のスローガンだ！！」

「勝たなければ意味はない」

そりゃ正論だな。勝たなければ意味はないだろうよ。

「うぜーっスよねあのボクシング野郎」

「ちよっ、獄寺君！！京子ちゃんに聞こえちゃうよ！！」

「・・・・・・・・どっちも丸聞こえなんすけど」

「今年も組の勝敗を握るのは、やはり棒倒しだ」

「ボーオオシ？」

「どーせ1年は腕力のある2・3年の引き立て役だよ」

いや、棒倒しの説明しろよ

「例年、組の代表を棒倒しの総大将にするならわしだ。つまりオレがやるべきだ」

まあ、実力のあるものがやった方がいいからな

「だがオレは辞退する！！！！」

「「「「え」「」「」」」」

「オレは大将であるより、兵士として戦いたいんだー！！！！」

単なるわがままやないかい

「だが心配はいらん。オレより総大将にふさわしい男を用意してある」

誰だ

「1のA不知火氷期だ！！」

「っな！！」

いやいやいやいや

「オレ今日転校したばっかだし」

なんで俺の名前知ってんの

「いや、お前は強いとみた間違いない」

「誰だあいつ」

「あの人結構カッコイイ」

「っていつか1年にや無理だろ」

「手をあげんか!!!」

多数決の意味ねー

「いや残念だけど兵士に回らせてもらう」

そっちの方がやりやすい

「なぜだ!!!」

「いや、オレは相手を薙ぎ倒す方が向いてるから」

反射はの方がやりやすい

その瞬間部屋が静まる

あれ、すごい引かれた

「……………わかったぞ！」

「で、結局総大将どうするんだ」

「やっぱり笹川か？」

「もうそれでいいよ」

すごい人気ですね。笹川^{あに}

「いや、こんなこともあるつかともう一人決めている」
最初からそいつにしろや

「1のAの沢田ツナだ！！」

いやいや、沢田綱吉だ

「おおおっ」

「10代目のすごさをわかってんじゃねーかボクシング野郎」

おーいおい沢田、困ってんぞ

「賛成の者は手を挙げてくれ！過半数の挙手で決定とする」

「1年はダメだろ」

「オレ反対」

「負けたくないもんねえ」

すっげえホツとしてっぞ

「手を挙げる！！！」

「「「「命令だ！！！」」」」」

「うちのクラスに反対の奴なんていねーよな」

恐れーよ

「不知火くんも賛成？」

1人の女が話しかけてきた

「ああ、いいんじゃないの」

「不知火君に賛成ー！！」

あれ、俺こんなに人気だったっけ

「この勢いならいずれ過半数だろう。決定！！！！棒倒し大将は沢田ツナだ！！！」

いやいや、せめて過半数になるまで待てよ

「うそー!!!」

あー・・・・・・・・ご愁傷様

なんか集まってる。行くしかねーだろ。

「すげーなツナ!」

「さすがっス」

「ビビったっス」

「ご愁傷様っス」

「不自然なのが二人!!!! って不知火君?」

「あ?なんだてめえ」

「つよ、頑張れよ大将」

「てめえ、無視してんじゃねー」

「で、君たちの名前はなんだい」

「っあ、俺たちの名前は知らないんだっけ。俺の名前は沢田綱吉。」

「オレは、山本武よろしく」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「お前は」

「………ツチ獄寺隼人」

「で、こいつは？」

「オレは、ボンゴレファミリー所属リボーンだ」

ボンゴレ……だ？

「ちよリボ」それより後で棒倒しの練習するから河原に來い」

「あいよ」

そこでオレは背を向けて歩き出す。

「ちよっ不知火君？」

「あとで会おうぜ」

さてさて、そう来ましたか。さて主人公はこれからどうするのでしょうか。

世界征服も幸せな世界を作るのも自由です。すべては主人公次第です。

第三話 唯我独尊（後書き）

やっとツナ達と関わらせました。

それより、驚いたことが一つ。

お気に入り登録が7件も。

今までは一件もなかったのに・・・

この調子で頑張ります。

第四話 荒唐無稽

どつぼーーん!!!!!!

あ・・・ツナが落ちた。

タオル持ってってあげよう。

「大丈夫か？ツナ。ほれタオル」

「ん？っあ不知火君。ホントに来てくれたんだ・・・」

「パオーン」

「何やってんだ？・・・リボーン・・・」

（不知火君はわかってくれた!!!!）

「リボーンさん？おい、どこにもいねえじゃねーか」

（ま、いいけど）

「じゃあ、もう帰ろうぜ。ツナ風邪ひくだろ」

「そうだね、山本」

「オレ、何のために来たんだ？」

なんか忘れてるような・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・

「っあ、オレ家ねえんだった」

「え？」

「いやあ、今日マンションでも借りて住もうと思っていたんだが、
いい物件がなくてなあ」

「どうするの？」

「野宿でもするか」

「ええ！！！」

「ああ、大丈夫大丈夫。山に遭難したけど、3週間生き残ったから
あれはいい思い出だったなあ。毒キノコ食って死にかけたけど・・・。

「ええ・・・・・・・・」

あれ引かれた・・・

「じゃあ、お前ツナの家に住め」

「えっ」

「そりゃ、悪いだろ」

「大丈夫だ。ママンから許可もらった。」

用意周到なこった

「それじゃ遠慮なく」

「ああうん。これからよろしく」

「ああ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6985s/>

REBORNに最強が！！

2011年10月8日23時13分発行